

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営目標

サステナブルで安全・安心・快適な社会と人々の豊かな暮らしの実現に貢献

売上収益

5.7兆円以上

事業利益

4,500億円以上

事業利益率

8%以上

ROE

12%以上

② 中長期の経営戦略

1. ポートフォリオ経営強化

伸長事業と成長領域を重点領域として事業成長と収益力強化の両立推進

3. 成長領域事業化推進

データセンター・水素・アンモニア・CCUS分野で世界最高クラスの経済性を持つ製品開発

2. 伸長事業の着実遂行

エネルギー・原子力・防衛分野で旺盛な受注確保。生産能力強化・サプライチェーン強靱化・研究開発を推進

4. DX・デジタル活用

デジタルプラットフォーム「ΣSynX」で事業競争力強化。画像監視・データ処理で発電プラント安定運用支援

③ 対処すべき課題

① 生産体制強化

- エネルギー分野ガスタービンの海外拠点含む生産能力増強実施
- 防衛分野で組織横断タスクフォース立上げ、増産準備と物流改善推進
- 原子力分野で生産設備更新・高機能化と革新軽水炉開発加速

② 脱炭素・MISSION NET ZERO

- Scope1,2で2030年2014年比50%削減目標。2024年で47%削減見込み
- 三原製作所で工場カーボンニュートラル化推進。太陽光発電と脱炭素新技術導入
- Scope3で2030年2019年比50%削減。高砂水素パーク等でソリューション開発実証

③ 新価値創造とイノベーション

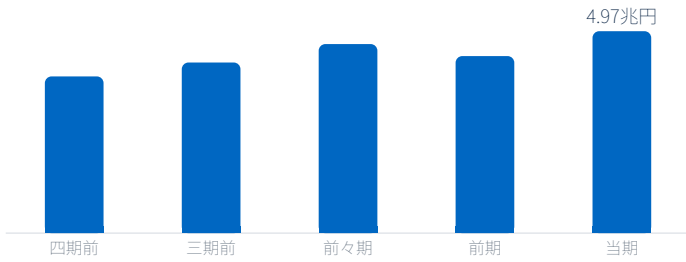
- 「Innovative Total Optimization」(ITO)で基盤技術組合せによるバリューチェーン…
- 縦横連携強化でシナジー追求。全体最適による生産性向上・収益力強化実現
- ExxonMobil社との次世代CO2回収技術研究開発加速

面で使えるポイント

- 2026年度に売上収益5.7兆円・事業利益4,500億円達成を目指す中期経営計画『2024事業計画』に注力
- エネルギー・原子力・防衛の伸長事業で生産能力強化とサプライチェーン強靱化を同時推進
- デジタルプラットフォーム『ΣSynX』でデータセンター等成長領域開拓し、新事業機会創出

証券コード 7011

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
4.97兆円営業利益率
－（未開示）財務健康度
39点 / 100点

要するに
一般機械器具および輸送用機械器具の製造販売を主
要事業とする大手重工業企業

主力事業・セグメント

- ・エネルギーSystems 41.4%
- ・Aircraft防衛・Space 28.1%
- ・Plants・Infrastru 16.4%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高4.97兆円の大企業
- ・将来性評価は晴れ時々曇り
- ・平均勤続18.5年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 65.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,072万円

機械内 3位/208社

平均年齢

42.3歳

機械内 111位/209社

平均勤続

18.5年

機械内 43位/209社

女性管理職

2.9%

機械内 115位/168社

男性育休

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: テラドローン、元三菱重工業 日本の防衛産業を支えてきた岩崎啓

